

事業名：若年層を対象とした事業所歯科健診・歯周病検査及び、組合員の口腔リテラシー向上事業

南都銀行健康保険組合

課題

- ・ 全年齢層のほぼ2人に1人に4mm以上の歯周ポケットのある歯（歯周病）がみられ、高齢になるほどその割合が高くなることなどが明らかになっている。
- ・ 歯周病は歯を失うだけでなく、糖尿病や動脈硬化などの生活習慣病を引き起こす原因でもあり、アルツハイマー型認知症との関連が指摘されている。
- ・ 当組合の歯科関連疾患（歯肉炎・歯周炎）の疾病別医療費は最も高く、最も人数が多い。
- ・ う蝕も上位疾病に含まれており、早期発見と予防が急務である。



目的

- ・ 組合員全体の口腔リテラシーの向上を目的とし、若年層にはより歯科健康に対する意識を高めるため、歯科健診や啓発活動を通じて、歯の健康が全身の健康維持に重要であることを広める。早期発見・予防強化を行い、予防歯科の重要性を認識させる。これにより、歯科疾患の予防だけでなく、将来にわたる全身の健康意識向上を目指す。
- ・ 口腔の健康維持を通じて全身疾患や生活習慣病の予防を促進し、将来的な医療費削減を目指す。
- ・ 2024年度厚生労働省の「就労世代の歯科健康診査等推進事業」に参加したことをきっかけにさらに一歩踏み込み、当組合および事業者が役割を明確にして成果を求めることで、より主体的な事業とする。
- ・ 歯科疾患の予防活動が社会全体に与える影響を広め、企業や地域社会全体での取り組みを強化。これにより、予防文化を根付かせ、医療費削減と健康促進を実現する。

事業概要

- ・ 組合員全員を対象に、口腔リテラシーを高めるための動画視聴（eラーニング）を実施
- ・ 定期健康診断と連携した事業所歯科健診を行い、従業員の歯科健診受診率向上を図る。
- ・ 事業所歯科健診後の行動変容（歯科受診）の状況を確認し、その状況により要受診者（むし歯・歯周病・1年以内の歯科医院未受診）への継続的な歯科医院への受診を促進し、事業効果を高めていく。

成果指標

- ①eラーニング視聴後の口腔リテラシー定着率85%
- ②要受診者の歯科健診受診後3か月時点における歯科医院への受診率17.5%



事業所歯科健診 実施の流れ

実施前～実施期間

- ・組合全体への口腔リテラシーを高めるためのeラーニング①実施
- ・事業所歯科健診の歯科受診票の配布

当日

歯科医師からの問診を行い口腔内診査とプロービング検査を実施。

健診時

要受診者へ受診勧奨、また歯周病リスク者には、歯周病検査キットを実施し、歯科医院受診を促す。eラーニング同時実施。

実施後

歯科健診実施3か月後にメール等で再度受診勧奨及びアンケートにより、要受診者の行動変容を検証する。

事業スケジュール 令和7年度

6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事前打合せ		定期健康診断実施スケジュールの確認、共有。実施にあたり、具体的に打合せ	実施にあたり、事業者との最終調整	定期報告会					定期報告会
	eラーニング①			歯科健診実施			アンケート実施		
				eラーニング②	eラーニング③	eラーニング④			アンケート集計
									最終報告会

ロジックモデル (概要)

